施策番号	1902		
施策名	学びが社会に還元されるしくみづくり		
概要	ひとりひとりが学び続けることにより地域や社会の課題を認識し，課題解決に主体的に取り組むまちづくりを進めるとともに，地域活動の活性化につなげる。		
担当局･部室	教育委員会・生涯学習部	共管局･部室	
上位政策	19　生涯学習		
施策に関係する主な分野別計画等			

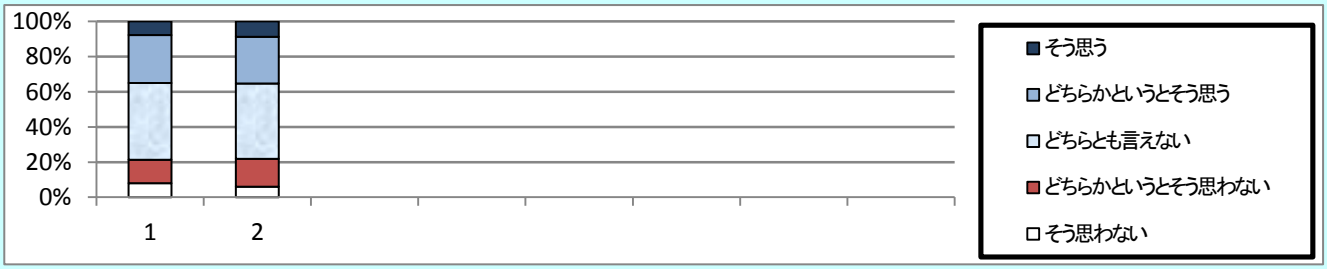
施策の評価

1　客観指標評価

	指標名	23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	博物館ふれあいボランティア等活動回数(回)	b	b	5,478	7,650	6,000	127.5%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				a	

2　市民生活実感評価　＊この評価は，毎年５月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

	設問	25年度回答						
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	生涯にわたって自ら学習したことが，仕事や社会活動に役立っている。	38	133	213	65	39	488	c
		7.8%	27.3%	43.6%	13.3%	8.0%		
2	地域での取組において，幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	41	124	200	74	28	467	c
		8.8%	26.6%	42.8%	15.8%	6.0%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



３ 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価）

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☑ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
（重み付けの理由） 本施策に係る事業については，市民ひとりひとりの学びと取組が，直ちに社会に還元される仕組みになっていると，多くの市民が実感することは困難であるため，客観指標を重視する。						24年度	B
（原因分析） ・博物館ふれあいボランティア活動回数は，23年度より増加し，a評価となった。全体的に活動が活発になったため，回数が増加したと考えられる。 ・市民生活実感評価はc評価で，「どちらとも言えない」との回答が2問とも半分近くを占めており，学習する機会や学習の成果を還元する機会が十分あるという実感までは得られていない。						23年度	B

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況（千円）		25年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		24年度決算額	25年度予算額		
1	各種生涯学習事業	60,714	88,129	かなり良い	教育委員会
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

＊予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・京博連と連携しながら，ボランティア養成講座を実施するとともに，加盟館に対して，ボランティアの継続的な周知・活用依頼に努めるなど，ボランティア活動の更なる機会拡充を図り，学びの成果を十分に発揮して生きがいや充実感を得られる活動となるよう支援する。
・市民の学習機会の提供に努めるとともに，地域の各種団体や学校運営協議会，ＰＴＡなどが連携した地域コミュニティづくりを推進し，住民の相互交流を深めるためのイベント等地域に根ざした取組を支援する。

施策名	1902	学びが社会に還元されるしくみづくり

指標名	博物館ふれあいボランティア等活動回数（回）

担当課	生涯学習部生涯学習推進担当	連絡先	２５１－０４１０

１　指標の説明

「博物館ふれあいボランティア」「子どもを取り巻く緊急課題語り部（携帯電話市民インストラクター）」「親支援プログラム支援者」の活動回数

２　指標の意味

自らの学びを京都のまちや地域に活かしている市民の増加状況を示す指標

３　算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

４　数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	5,478	7,650	2,172回増	6,000	平成32年度の目標値に向け当該年度に達成すべき数値。	127.5%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		7000回	32年度	109.3%	22年度実施回数の約2割増

備考	

５　評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

６　基準説明

100%以上をａ，以下20%刻みで基準を設定した。

７　評価結果

23	24	25
b	b	a